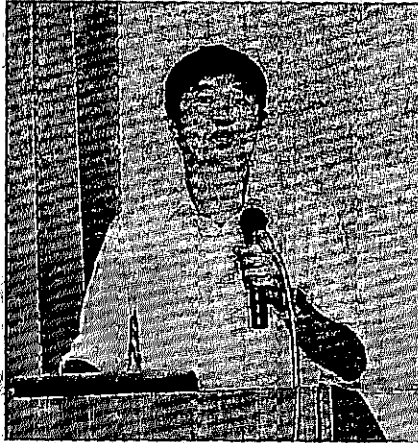


肺がんの早期発見へCT検診

和歌山病院で公開講座



「肺がんの発見にはCT検診が有効と」小野センター長

生活の見直し、適度な運動、適正体重の維持の5つの健康習慣の実践と、肺がんの検診は早期発見に有効なCT検診を選択することを呼びかけた。加納昌明副看護師長による「緩和ケアについて」の講演も行われた。

美浜町和田の和歌山病院で25日、第16回市民公開講座が行われ、講演や測定コーナーなどに地域住民約40人が訪れた。

「肺がんについて」検診から治療まで」をテーマに呼吸器内科の小野英也センター長が講演。がんの種類や進行、最近の研究で、

がんの原因は遺伝子異常が積み重なって起こるなど分かっていることなどを紹介。従来までの抗がん剤に加え、自己免疫力を利用するなどの遺伝子異常に対応したがん治療薬の開発が進んでいることも話した。がんになるリスクが約50%低減するといふ、禁煙、節酒、食